

報告日 2022 年 9 月 30 日

## 2022 年度 東京家政学院大学卒業生に関するアンケート調査 集計結果

### 1. 調査目的

本学の 2 学部 5 学科に設けているディプロマポリシーが就職先での就業に活かされているのか、また、活かした仕事に就いているのかを把握し、本学の教育の成果及び効果の検証を行い、教育改善だけではなく、今後のキャリア・就職支援の向上に活かすため。

### 2. 調査対象

東京家政学院大学卒業生の採用企業及び施設等 18

### 3. 調査方法

依頼メールに添付した調査票(Excel)への回答・提出

### 4. 調査内容

別紙添付のとおり

### 5. 実施期間

2022 年 8 月 25 日～9 月 16 日

### 6. 集計結果

回答数 9

回答率 50%

### 7. 担当部署

キャリア支援室

## 2022年度 東京家政学院大学卒業生に関するアンケート調査 集計結果

### 調査票【1】 -共通-

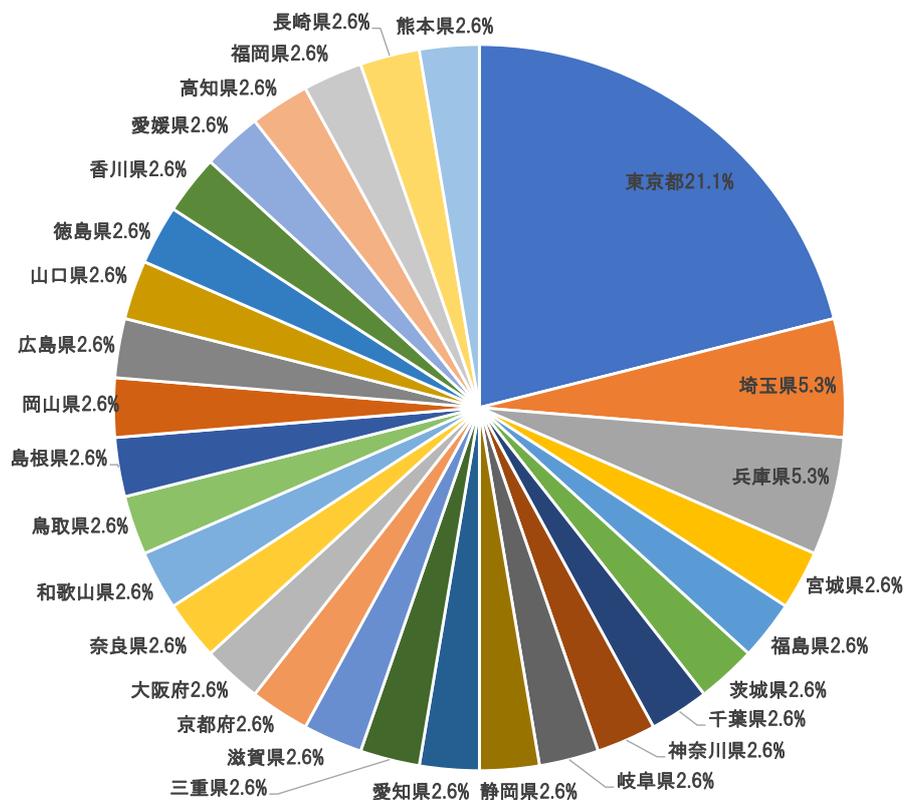
- \*調査票【1】は、本調査の共通事項となります。
- \*調査票【2】は、東京家政学院大学卒業生(学部卒)に関する調査となります。
- \*調査票【3】は、東京家政学院大学大学院修了生に関する調査となります。
- \*調査票【2】のⅢ、及び、【3】のⅢの設問については、在職者の有無に関わらずご回答頂けますと幸いです。
- \*貴社・貴施設の諸事情により回答できない項目は無回答で構いません。

#### I 貴社、貴施設について

##### 1 所在地

\*関連する事業所等が複数ある場合は、本社等に該当する所在地を選び、回答欄に「○」をご記入ください。

所在地	回答数	比率
北海道	0	0%
青森県	0	0%
岩手県	0	0%
宮城県	1	2.6%
秋田県	0	0%
山形県	0	0%
福島県	1	2.6%
茨城県	1	2.6%
栃木県	0	0%
群馬県	0	0%
埼玉県	2	5.3%
千葉県	1	2.6%
東京都	8	21.1%
神奈川県	1	2.6%
新潟県	0	0%
富山県	0	0%
石川県	0	0%
福井県	0	0%
山梨県	0	0%
長野県	0	0%
岐阜県	1	2.6%
静岡県	1	2.6%
愛知県	1	2.6%
三重県	1	2.6%
滋賀県	1	2.6%
京都府	1	2.6%
大阪府	1	2.6%
兵庫県	2	5.3%
奈良県	1	2.6%
和歌山県	1	2.6%
鳥取県	1	2.6%
島根県	1	2.6%
岡山県	1	2.6%
広島県	1	2.6%
山口県	1	2.6%
徳島県	1	2.6%
香川県	1	2.6%
愛媛県	1	2.6%
高知県	1	2.6%
福岡県	1	2.6%
佐賀県	0	0%
長崎県	1	2.6%
熊本県	1	2.6%
大分県	0	0%
宮崎県	0	0%
鹿児島県	0	0%
沖縄県	0	0%
その他	0	0%
合計	38	100%



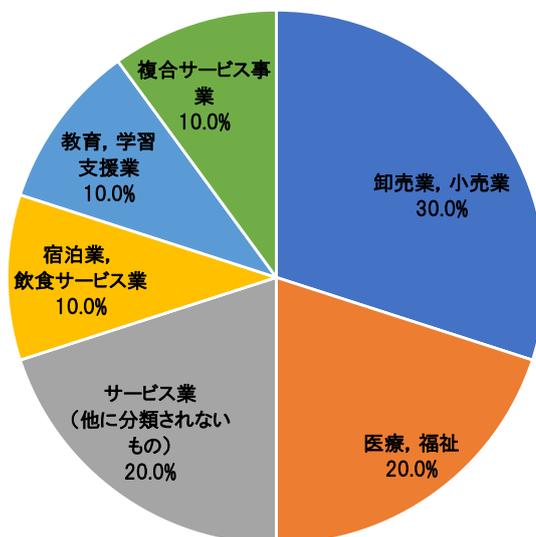
(補足)各県の本社等に該当する事業所を回答した企業・施設等があったため、実際の回答数とは異なります。

## 2 業種

\*複数当てはまる場合は、代表的な項目を選び、回答欄に「○」をご記入ください。

	業種	回答数	比率
A	農業, 林業	0	0%
B	漁業	0	0%
C	鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0%
D	建設業	0	0%
E	製造業	0	0%
F	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0%
G	情報通信業	0	0%
H	運輸業, 郵便業	0	0%
I	卸売業, 小売業	3	30.0%
J	金融業, 保険業	0	0%
K	不動産業, 物品賃貸業	0	0%
L	学術研究, 専門・技術サービス業	0	0%
M	宿泊業, 飲食サービス業	1	10.0%
N	生活関連サービス業, 娯楽業	0	0%
O	教育, 学習支援業	1	10.0%
P	医療, 福祉	2	20.0%
Q	複合サービス事業	1	10.0%
R	サービス業(他に分類されないもの)	2	20.0%
S	公務(他に分類されるものを除く)	0	0%
T	その他	0	0%
	合計	10	100%

(補足)該当する代表的な業種に複数の回答をした企業・施設等があったため、実際の回答数とは異なります。



3 東京家政学院大学卒業生、および、大学院修了生の在職状況(2022年8月1日現在)

\*回答欄に「○」をご記入ください。

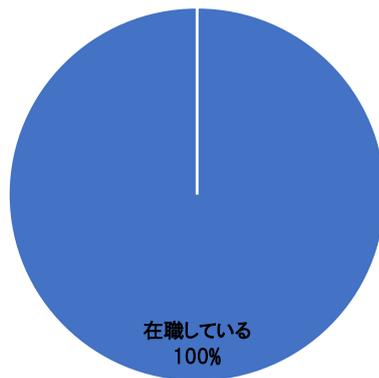
\*複数回答可

区分	状況	回答数	比率
東京家政学院大学	在職している	9	100%
	在職していない	0	0%
合計		9	100%

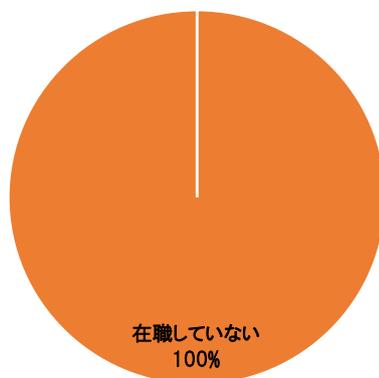
区分	状況	回答数	比率
東京家政学院大学大学院	在職している	0	0%
	在職していない	9	100%
合計		9	100%

「在職していない」を回答された場合は、調査票【2】のⅢおよび【3】のⅢにお進みください。

東京家政学院大学 卒業生



東京家政学院大学大学院 修了生



4 3で「在職している」と回答された場合は、その在職者数とその内訳をご回答ください。

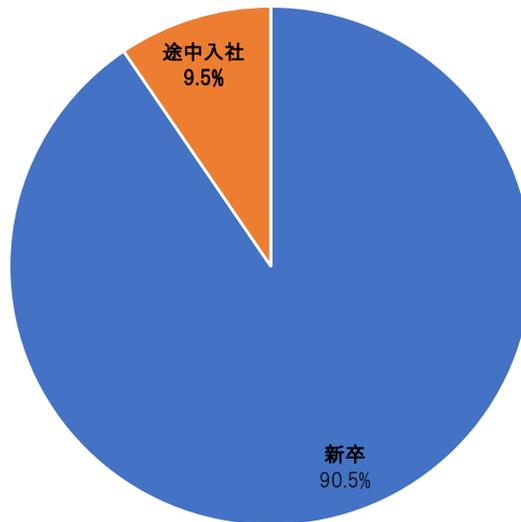
\*回答欄に人数をご記入ください。

区分	在職者数	在職者の内訳			
		新卒	比率	途中入社	比率
東京家政学院大学	63	57	90.5%	6	9.5%
東京家政学院大学大学院	0	0	0%	0	0%

→ご回答後、調査票【2】にお進みください。

→ご回答後、調査票【3】にお進みください。

\*大学・大学院のどちらもご回答された場合は、調査票【2】および【3】もお答えください。



## II 在職している東京家政学院大学卒業生(学部卒)について

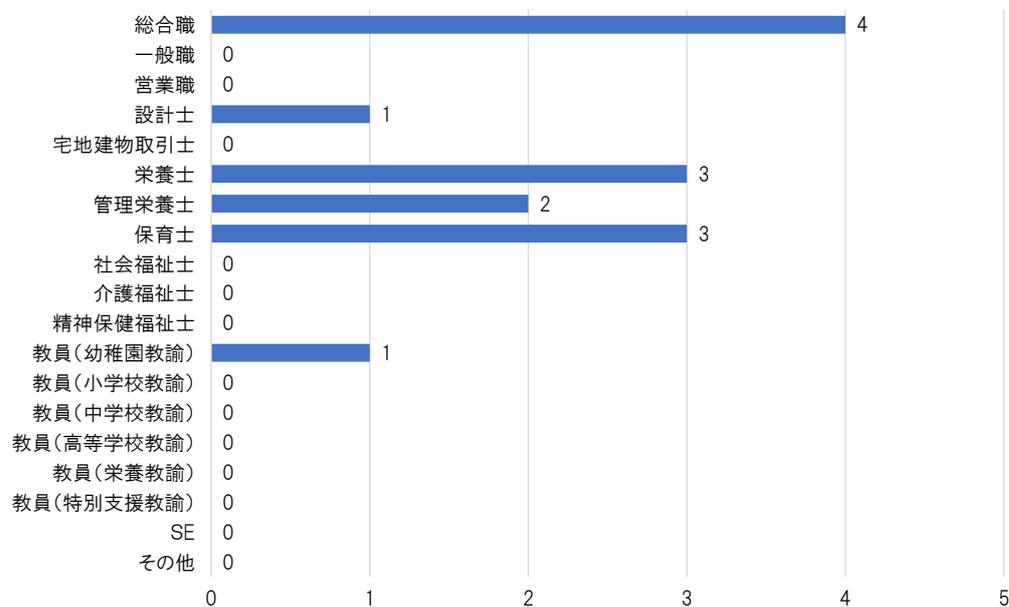
## 1 本学卒業生の職種についてご回答ください。

\*当てはまる項目は全てご回答いただき、回答欄に「○」をご記入ください。

職種	回答数
総合職	4
一般職	0
営業職	0
設計士	1
宅地建物取引士	0
栄養士	3
管理栄養士	2
保育士	3
社会福祉士	0
介護福祉士	0
精神保健福祉士	0
教員(幼稚園教諭)	1
教員(小学校教諭)	0
教員(中学校教諭)	0
教員(高等学校教諭)	0
教員(栄養教諭)	0
教員(特別支援教諭)	0
SE	0
その他	0
合計	14

設問1で「その他」をご回答された場合は、下記に該当する職種をご記入ください。(任意)

\*枠が不足する場合は、任意の用紙にて作成のうえご提出ください。

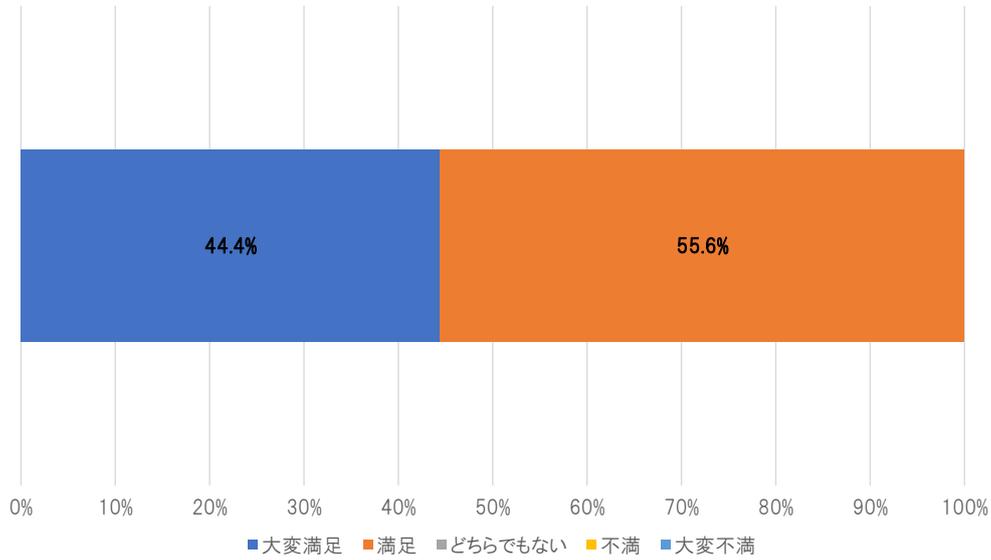


2 本学卒業生の満足度をご回答ください。

\*在職者が複数いる場合は、総合的にご回答ください。

\*該当する項目を1つ選び、回答欄に「○」をご記入ください。

度合い	回答数	比率
大変満足	4	44.4%
満足	5	55.6%
どちらでもない	0	0%
不満	0	0%
大変不満	0	0%
合計	9	100%



3 本学卒業生に、本学で掲げているディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)が、身についているかご回答ください。

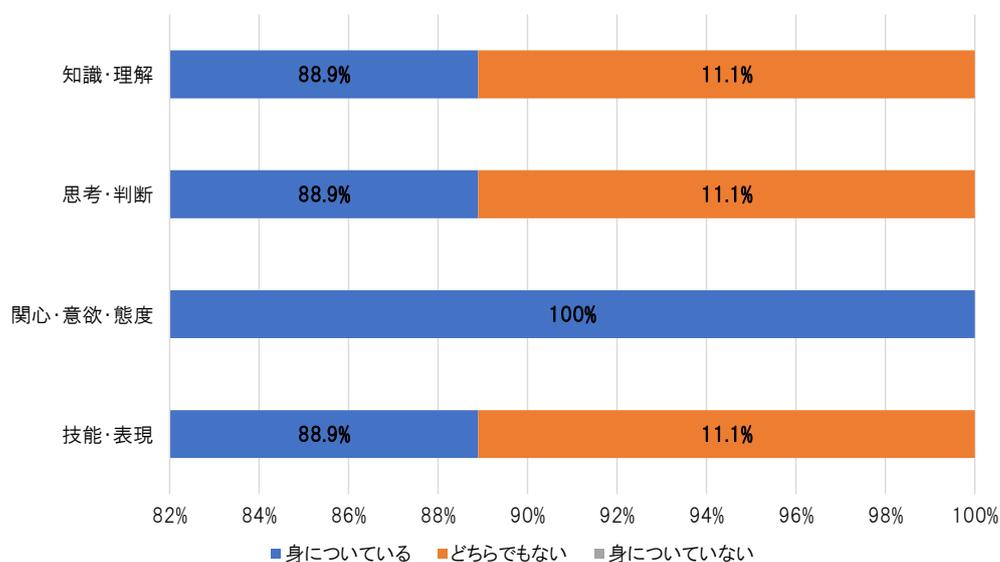
\*在職者が複数、かつ、学科も複数の場合は、総合的に判断して、回答欄に「○」をご記入ください。

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
思考・判断	身につけている	8	88.9%
	どちらでもない	1	11.1%
	身につけていない	0	0%
合計		9	100%

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
思考・判断	身につけている	8	88.9%
	どちらでもない	1	11.1%
	身につけていない	0	0%
合計		9	100%

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
関心・意欲・態度	身につけている	9	100%
	どちらでもない	0	0%
	身につけていない	0	0%
合計		9	100%

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
技能・表現	身につけている	8	88.9%
	どちらでもない	1	11.1%
	身につけていない	0	0%
合計		9	100.0%



4 本学卒業生に、経済産業省による「社会人基礎力」がどの程度身についているかご回答ください。

\*在職者及びその学科が複数の場合は、総合的にご判断ください。

\*該当する回答を選び、回答欄に「○」をご記入ください。

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
主体性	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	2	22.2%
	2(やや低い)	1	11.1%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
発信力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	3	33.3%
	3(ふつう)	3	33.3%
	2(やや低い)	1	11.1%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
働きかけ力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	2	22.2%
	2(やや低い)	1	11.1%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
傾聴力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	3	33.3%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
実行力	5(高い)	3	33.3%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	2	22.2%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
柔軟性	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	3	33.3%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
課題発見力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	3	33.3%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

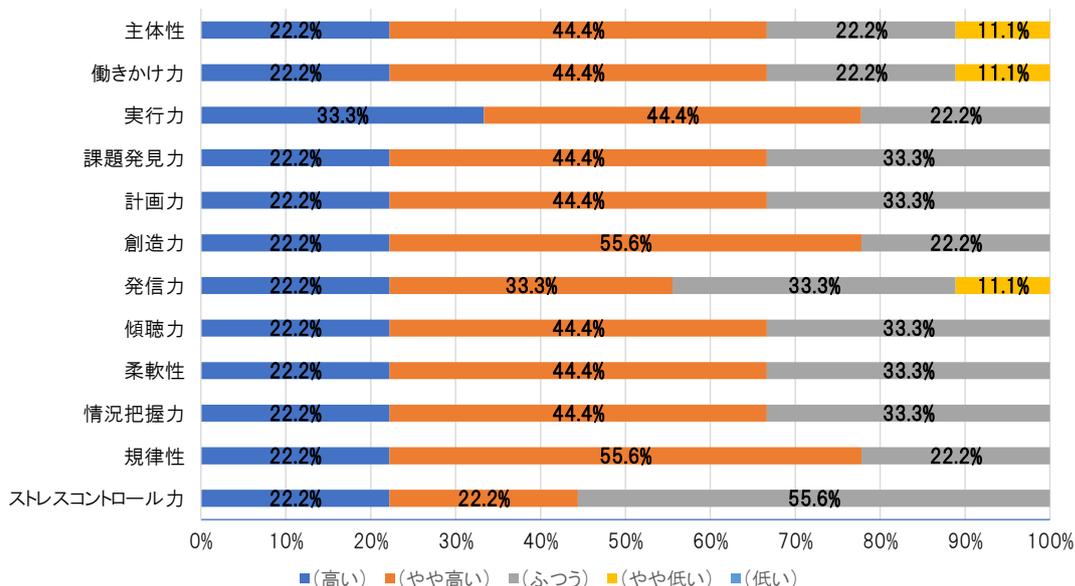
社会人基礎力	レベル	回答数	比率
状況把握力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	3	33.3%
	2(やや低い)	0	0.0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
計画力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	4	44.4%
	3(ふつう)	3	33.3%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
規律性	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	5	55.6%
	3(ふつう)	2	22.2%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
創造力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	5	55.6%
	3(ふつう)	2	22.2%
	2(やや低い)	0	0.0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
ストレスコントロール力	5(高い)	2	22.2%
	4(やや高い)	2	22.2%
	3(ふつう)	5	55.6%
	2(やや低い)	0	0%
	1(低い)	0	0%
合計		9	100%



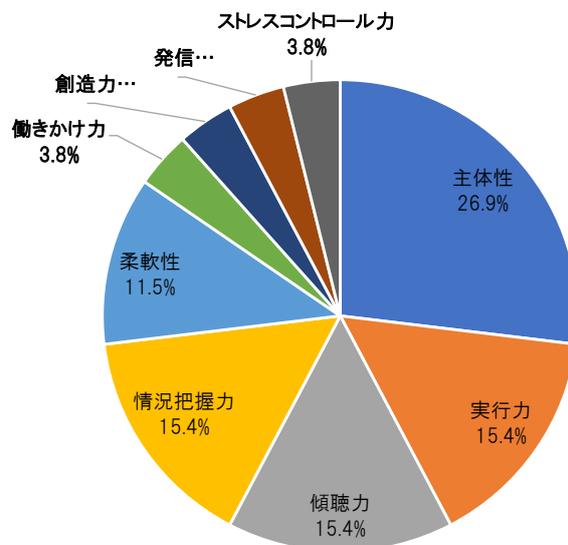
### Ⅲ ご意見

この設問は、本学卒業生の在職の有無に関わらずご回答ください。

#### 1 経済産業省による「社会人基礎力」から、貴社・貴施設が必要と考えているものを上位3つご回答ください。

\*回答欄に「○」をご記入ください。

社会人基礎力	回答数	比率
主体性	7	26.9%
働きかけ力	1	3.8%
実行力	4	15.4%
課題発見力	0	0%
計画力	0	0%
創造力	1	3.8%
発信力	1	3.8%
傾聴力	4	15.4%
柔軟性	3	11.5%
状況把握力	4	15.4%
規律性	0	0%
ストレスコントロール力	1	3.8%
合計	26	100%



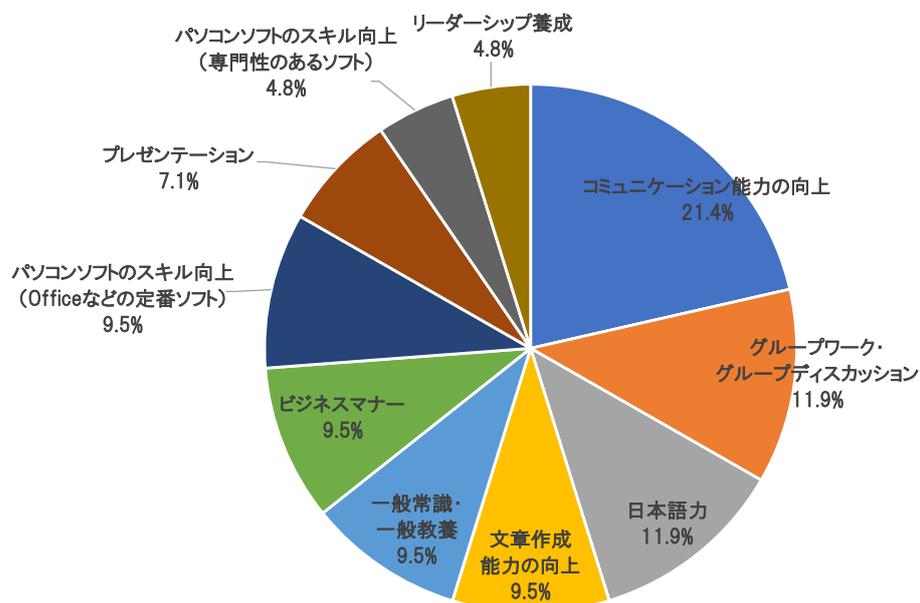
2 社会人基礎力育成のために、本学での教育に取り入れてほしい、又は、充実させてほしい、と考えている項目について当てはまるものを全てご回答ください。

\*回答欄に「○」をご記入ください。

希望する教育項目	回答数	比率
グループワーク・グループディスカッション	5	11.9%
プレゼンテーション	3	7.1%
コミュニケーション能力の向上	9	21.4%
文章作成能力の向上	4	9.5%
日本語力	5	11.9%
一般常識・一般教養	4	9.5%
ビジネスマナー	4	9.5%
対面・オンライン等の面接練習	0	0%
動画制作	0	0%
パソコンソフトのスキル向上(Officeなどの定番ソフト)	4	9.5%
パソコンソフトのスキル向上(専門性のあるソフト)	2	4.8%
外国語教育	0	0%
リーダーシップ養成	2	4.8%
その他	0	0%
合計	42	100%

設問2で「その他」をご回答された場合は、下記に他のご意見をご記入ください。(任意)

\*枠が不足する場合は、任意の用紙にて作成ください。



3 社会人基礎力育成のために、貴社・貴施設で必要と考えている課外活動について、当てはまるものを全てご回答ください。

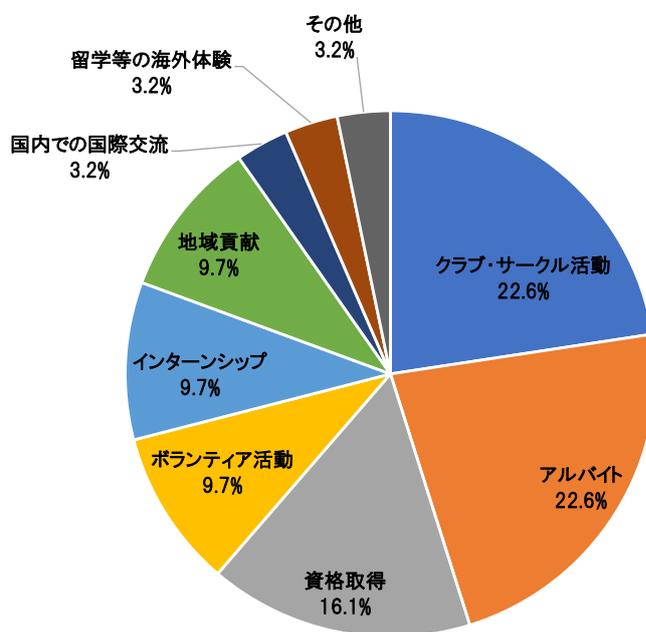
\*回答欄に「○」をご記入ください。

課外活動	回答数	比率
クラブ・サークル活動	7	22.6%
ボランティア活動	3	9.7%
アルバイト	7	22.6%
インターンシップ	3	9.7%
地域貢献	3	9.7%
国内での国際交流	1	3.2%
留学等の海外経験	1	3.2%
資格取得	5	16.1%
コンテスト等の参加	0	0%
創作活動	0	0%
その他	1	3.2%
合計	31	100%

設問3で「その他」をご回答された場合は、下記に他のご意見をご記入ください。（任意）

\*枠が不足する場合は、任意の用紙にて作成のうえご提出ください。

どんな課外活動も社会人基礎力育成の役に立ちうると思います。どの活動をしていたかより、どのように活動していたかが大切ではないかと感じます。



#### 4 最後に、本調査について、または、本学や在職している本学卒業生についてなど、何かございましたら自由にご記入ください。

それぞれ性格が違い、良いところも成長を期待するところも異なる職員たちですので、与えられた項目から総合的に選択するのは難しいと思いました。新卒で採用した場合、知らない事できない事失敗があるのは想定内ですので、即戦力としての力というよりは経験(成功も失敗も)を通して、よくなっていくとする意欲を持って働き、教諭や社会人として成長していただけることを期待しています。保育者としての専門性の多くは学校で身に付けるだけではなく、現場で身に付けていくものではないかと感じています。

残念ながら退職された方もいらっしゃいますが、弊社にて活躍し戦力となっていました。現職者は店長としてそして後輩育成においても優秀な人材です。(今期、表彰もされております)貴校の学生様と良いご縁が続きますよう今後共どうぞ宜しくお願い致します。また、24卒に向けたインターンシップの告知など今後ご連絡させていただく事があると存じますが変わらずお付き合いの程宜しくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になっております。毎年、多くの学生様のご縁を頂戴し誠にありがとうございます。なお、23卒においては、内定をご承諾後に辞退された学生様が3名おりますので、自己分析などをより選考前に 推進していただけますと幸いです。内定を承諾いただいたみなさまは、前向きに将来をイメージしながら就職活動をしております、大変頼りがいの ある学生様ばかりでした。今後とも、何卒よろしくお願いたします。

特にございません。今後とも何卒よろしくお願申し上げます。

保育に対する地域社会の期待は多様化し、日増しに高まっている感があります。また、新たな感染症への対策など、刻々と変わりつつある状況への対応も求められます。貴学出身の保育士、管理栄養士の方々については、基礎的な力があると認識しています。世間ではさらなるICT化、デジタル化への対応という課題もありますが、福祉事業としての保育は根源的に状況の観察や傾聴、柔軟な対応など従来と変わらない部分もあります。貴学におかれましては、福祉の基礎的な部分を踏まえつつ、現在の状況にあった、また、将来の社会情勢を見据えた教育をされ、優秀な人材を輩出していただきますよう祈念しています。ありがとうございました。

貴校を訪問させて頂いた際、職員の方々が学生さんに対し、穏やかに優しく寄り添いながら関わっておられ、来校者にも温かくもてなして下さる校風から、学生さんの規範意識や社会性が育まれてうのように思います。 貴校の卒業生は一所懸命に業務に取り組んでおります。真面目で謙虚な素直な立ち居振る舞いに、先輩から好かれる存在として自身の居場所を構築していく力を感じます。他者の意見に耳を傾けると共に、自身の意見を伝えられる資質も感じられるため、当法人に就職して下さったことを有難く思います。

お忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。大学卒業生(学部卒)の調査は以上となります。

- ✓ 大学院修了生の在職者がいる場合は、調査票【3】もご回答願います。
- ✓ 調査票【3】のⅢにつきましては、在職者の有無に関わらずご回答いただけますと幸いです。

今後とも何卒よろしくお願申し上げます。

2022年度 東京家政学院大学卒業生に関するアンケート調査 集計結果

調査票【3】 -大学院修了生-

大学院修了生の在職者がいないため、本票Ⅱに回答無し。Ⅲのみ集計した。

Ⅱ 在職している東京家政学院大学大学院修了生について

1 本学修了生の職種についてご回答ください。

\*当てはまる項目は全てご回答いただき、回答欄に「○」をご記入ください。

職種	回答数	比率
総合職		
一般職		
営業職		
設計士		
宅地建物取引士		
栄養士		
管理栄養士		
保育士		
社会福祉士		
介護福祉士		
精神保健福祉士		
教員(幼稚園教諭)		
教員(小学校教諭)		
教員(中学校教諭)		
教員(高等学校教諭)		
教員(栄養教諭)		
教員(特別支援教諭)		
SE		
その他		
合計		

設問1で「その他」をご回答された場合は、下記に該当する職種をご記入ください。(任意)

\*枠が不足する場合は、任意の用紙にて作成のうえご提出ください。

2 本学修了生の満足度をご回答ください。

\*在職者が複数いる場合は、総合的にご回答ください。

\*該当する項目を1つ選び、回答欄に「○」をご記入ください。

度合い	回答数	比率
大変満足		
満足		
どちらでもない		
不満		
大変不満		
合計		

3 本学修了生に、当大学院で掲げているディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)が、身につけているかご回答ください。

\*在職者が複数いる場合は、総合的に判断して、回答欄に「○」をご記入ください。

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
知識・技能	身につけている		
	どちらでもない		
	身につけていない		
合計			

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
思考・判断	身につけている		
	どちらでもない		
	身につけていない		
合計			

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
関心・意欲・態度	身につけている		
	どちらでもない		
	身につけていない		
合計			

ディプロマポリシー	レベル	回答数	比率
表現	身につけている		
	どちらでもない		
	身につけていない		
合計			

4 本学修了生に、経済産業省による「社会人基礎力」がどの程度身につけているかご回答ください。

\*在職者及びその学科が複数の場合は、総合的にご判断ください。

\*該当する回答を選び、回答欄に「○」をご記入ください。

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
主体性	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
発信力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
働きかけ力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
傾聴力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
実行力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
柔軟性	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
課題発見力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
状況把握力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
計画力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
規律性	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
創造力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

社会人基礎力	レベル	回答数	比率
ストレスコントロール力	5(高い)		
	4(やや高い)		
	3(ふつう)		
	2(やや低い)		
	1(低い)		
合計			

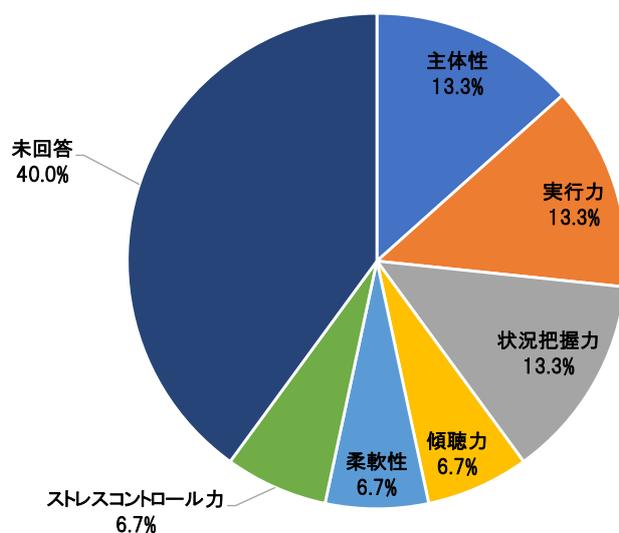
### Ⅲ ご意見

この設問は、本学修了生の在職の有無に関わらずご回答ください。

#### 1 経済産業省による「社会人基礎力」から、貴社・貴施設が必要と考えているものを上位3つご回答ください。

\*回答欄に「○」をご記入ください。

社会人基礎力	回答数	比率
主体性	2	13.3%
働きかけ力	0	0%
実行力	2	13.3%
課題発見力	0	0%
計画力	0	0%
創造力	0	0%
発信力	0	0%
傾聴力	1	6.7%
柔軟性	1	6.7%
状況把握力	2	13.3%
規律性	0	0%
ストレスコントロール力	1	6.7%
未回答	6	40.0%
合計	15	100%



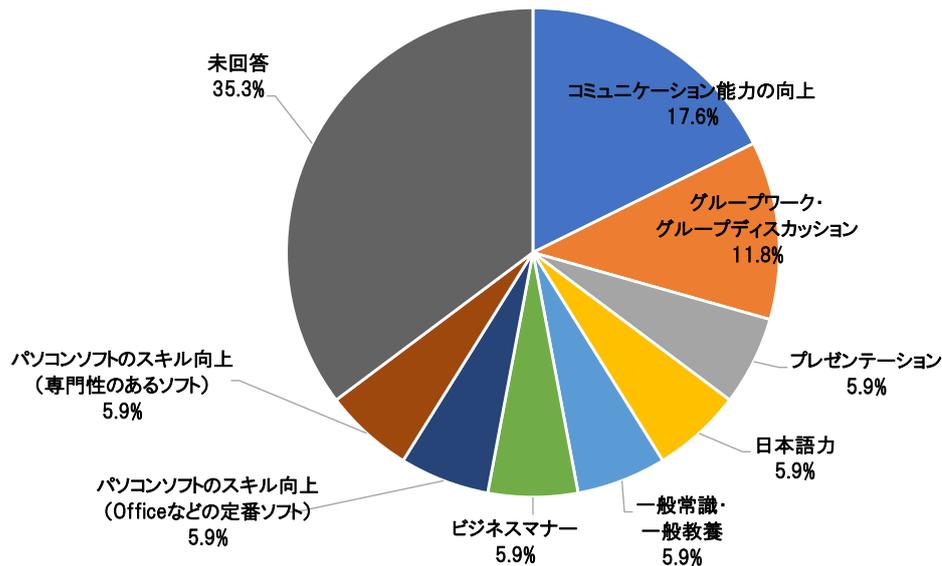
2 社会人基礎力育成のために、本学での教育に取り入れてほしい、又は、充実させてほしい、と考えている項目について当てはまるものを全てご回答ください。

\*回答欄に「○」をご記入ください。

希望する教育項目	回答数	比率
グループワーク・グループディスカッション	2	11.8%
プレゼンテーション	1	5.9%
コミュニケーション能力の向上	3	17.6%
文章作成能力の向上	0	0%
日本語力	1	5.9%
一般常識・一般教養	1	5.9%
ビジネスマナー	1	5.9%
対面・オンライン等の面接練習	0	0%
動画制作	0	0%
パソコンソフトのスキル向上(Officeなどの定番ソフト)	1	5.9%
パソコンソフトのスキル向上(専門性のあるソフト)	1	5.9%
外国語教育	0	0%
リーダーシップ養成	0	0%
その他	0	0%
未回答	6	35.3%
合計	17	100%

設問2で「その他」をご回答された場合は、下記に他のご意見をご記入ください。(任意)

\*枠が不足する場合は、任意の用紙にて作成ください。



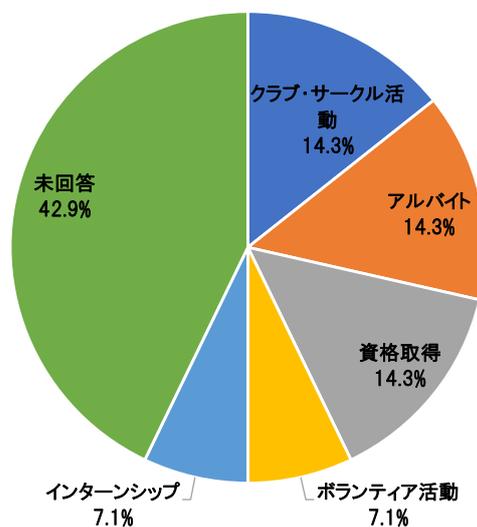
3 社会人基礎力育成のために、貴社・貴施設で必要と考えている課外活動について、当てはまるものを全てご回答ください。

\*回答欄に「○」をご記入ください。

課外活動	回答数	比率
クラブ・サークル活動	2	14.3%
ボランティア活動	1	7.1%
アルバイト	2	14.3%
インターンシップ	1	7.1%
地域貢献	0	0%
国内での国際交流	0	0%
留学等の海外経験	0	0%
資格取得	2	14.3%
コンテスト等の参加	0	0%
創作活動	0	0%
その他	0	0%
未回答	6	42.9%
合計	14	100%

設問3で「その他」をご回答された場合は、下記に他のご意見をご記入ください。(任意)

\*枠が不足する場合は、任意の用紙にて作成のうえご提出ください。



4 最後に、本調査について、または、本学や在職している本学修了生についてなど、何かございましたら自由にご記入ください。

お忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。大学院修了生の調査は以上となります。

- ✓ 大学卒業生(学部卒)の在職者がいる場合は、調査票【2】もご回答願います。
- ✓ 調査票【2】のⅢにつきましては、在職者の有無に関わらずご回答いただけますと幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。